

第20回奈良県キャンポリー

基本実施要項

期 間: 令和7年(2025年)8月11日(月)～8月15日(金)
主会場: 日本ボーイスカウト奈良県連盟 はやまの森野営場

日本ボーイスカウト奈良県連盟

1 開催趣旨

本大会に参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤に、県内のスカウト仲間との相互交流、および、冒険的で楽しい野外活動を通じて、班活動の楽しさと班内での役務を全うする責務を自覚し自己の務めを果たすことにより「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会とする。本大会では、前回の派遣隊方式から班編成を中心とした団・地区による参加隊方式に変更することで、少人数隊のスカウトにも班活動を中心とした班のメンバーとしてのリーダーシップ・フォロワーシップを体得し、仲間が多いとスカウティングが面白いことを理解させ、自隊の活動で生かせるようにするとともに、指導者には班制教育の手法と効果を再認識させスカウト確保に向けた取り組みを自覚することで、加盟員の拡充と隊や班の育成を図る。さらには 2026 年 8 月に広島で開催される第 19 回日本スカウトジャンボリーのプレイベントとして県内スカウトの野営技能を向上させる機会とする。

2 名 称 第 2 0 回奈良県キャンプリー(略称: 20NC)

3 目的・テーマ

目 的 「スカウト技能を高め、長期の野営を快適に楽しむ」

～19NSJ を目指し、メンバー相互の建設的な協力関係を築き班の活動の楽しさを体感するとともに自己のスキルアップにつなげる～

テーマ 「All for One. One for All.」

4 会 期 令和 7 年(2025 年)8 月 11 日(月祝)～8 月 15 日(金)

参加者は 8 月 11 日入場、8 月 15 日退場、4 泊 5 日の野営生活を行う。

<日程表>

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間
前々日	8/9(土)	大会スタッフ入場・準備	大会スタッフ入場・設営・準備作業		
前日	8/10(日)	大会スタッフ入場・準備	大会スタッフ入場・設営・準備作業		
第 1 日	8/11(月)	参加隊入場・設営・開会式	準備作業	入場・設営	開会式
第 2 日	8/12(火)	プログラム	選択プロ	選択プロ	自主プロ
第 3 日	8/13(水)	プログラム	選択プロ	選択プロ	自主プロ
第 4 日	8/14(木)	大集会・閉会式	選択プロ	大集会	閉会式
第 5 日	8/15(金)	撤営・参加者退場	撤営	参加者退場	
翌日	8/16(土)	撤営・大会スタッフ退場			
翌々日	8/17(日)	野営場一般利用者受入開始			

5 会 場 奈良県連盟「はやまの森野営場」 奈良市都祁吐山町 3370 番地

奈良介護福祉中央学院（旧はやま小学校）、奈良県野外活動センターの一部

6 参 加 者

本大会は、県内加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者とともに団単独または地区に団混成の参加隊を編成する。本大会は、青年・成人の大会スタッフにより運営される。参加隊に所属しないベンチャースカウトについてはベンチャー奉仕隊を編成し大会運営に参加する。大会スタッフには、加盟員はもとよりガールスカウト、関係諸団体、一般成人等からの奉仕を歓迎する。

7 参加隊の編成

大会の参加にあたっては、団または地区単位で6名～8名の班を編成し、2班～4班で隊を編成する。1隊あたり隊長1名、副長及び副長補1～6名とベンチャースカウトの上級班長1名を含め1隊あたり40名までを標準とする。ただし参加希望の数により標準を前後することを認める。

8 参加人員

本大会は次の参加者をもって開催する。(2025/2/24時点の事前調査人数)

参加区分	内 訳	人数
参加隊	(1)ボーイスカウト 195名 (2)上記の引率指導者及びジュニアリーダー73名	268名
大会スタッフ	成人指導者、ローバースカウト等	58名
ベンチャー奉仕隊	現時点では参加隊・大会スタッフに含む	未定
計		326名

9 参加資格

参加するスカウトおよび指導者は、令和7年度の加盟登録を有し、1頁の日程表に示す8月11日から8月15日までの4泊5日間のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有するよう各団が責任を持って訓練する。また、スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の参加の同意を得ること。

(1) ボーイスカウト (BS)

ボーイスカウトで、上記の参加資格を有すると隊長が認めた者。

(2) ベンチャースカウト (VS)

① ベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると隊長が認めた者。

② 参加隊指導者の指導のもと、隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム参加および生活面での支援を行うことができること。特に上級班長については、ベンチャースカウトの中から、指導力を有する1級スカウト章以上の技能のある者であり、班長・次長として6か月以上の経験を有することが望ましい。

(3) 参加隊の指導者

隊指導者として、教育規程に定められた役務に応じて必要な資格を有するか、各地区がこれと同等の資質と経験を有すると認めた者。参加スカウトに女子が含まれる場合は、指導者のうち、少なくとも1人は女性とする。

① 隊長 20歳以上で、隊指導者基礎訓練課程のボーイスカウトまたはベンチャースカウト課程を履修した者。ただし、25歳以上が望ましい。

② 副長 20歳以上で、導入訓練課程の訓練を修了した者。ただし、隊指導者基礎訓練課程の修了者が望ましい。

③ 副長補 18歳以上で、導入訓練課程の訓練を修了した者が望ましい。

(4) 大会スタッフ

① ローバースカウト、指導者、県連盟の役員および事務局職員、スカウトクラブ会員等。

② 県連盟が要請する各分野における専門家（外部インストラクター・協力者等）。

10 参加費

参加隊 BS スカウト 16,000 円 VS スカウト・指導者 10,000 円

VS 奉仕隊 VS スカウト 10,000 円 指導者 10,000 円

大会スタッフ RS スカウト・指導者 10,000 円

【経費の内訳】

参加者の参加費は大会の準備及び開催に要する経費に充てる。

(1) 諸準備から報告書作成までの経費

(2) 参加隊とベンチャー奉仕隊の 8 月 11 日(月)夕食から 8 月 15 日(金)昼食までの 12 食分の食料費

※大会スタッフは 8 月 11 日(月)夕食から 8 月 15 日(金)昼食までの 12 食分の給食費。

8 月 10 日(日)の大会前泊、8 月 15 日(金)の大会後泊を行う際の食事に関しては、大会での配給は行わず各自での手配（実費）となる。

(3) 炊事用等の燃料費

(4) 配付資料、参加章等の費用

(5) 会場の設備費および運営費

(6) 会期中の救護衛生費

(7) その他 参加者 ID・見学者 ID を含む事務費等

※ 場外有料プログラムの費用は含まない。

11 参加確定申込

(1) 各団の手続き

各団は参加隊と VS 奉仕隊、大会スタッフの参加確定者名簿を作成し、5 月 18 日(日)までに地区に報告する。

(2) 各地区の手続き

各地区は、団からの報告を受けて地区参加隊の編成を行ない、参加隊名簿を作成し 5 月 31 日(日)までに県連盟事務局に報告する。

①参加隊編成名簿

②VS 奉仕隊のスカウトの参加者名簿

③大会スタッフ名簿

(3) 確定申込書式

別に示す。

12 キャンポリー活動

キャンボリー活動は、大会期間を中心にその前後のすべての活動を含む、一連のまとまりのあるプログラムである。それには、参加の動機付け・準備訓練・大会期間中のキャンプ生活・大会プログラムへの参加・参加者同士の交流・帰宅後の評価と報告までのすべてが含まれている。

大会のプログラムは、次の点に留意しながら企画し、すべての参加者の成長を助けるよう身体的・精神的・知的・情緒的な発達と社会性を育むことを目標に、それぞれをバランス良く配分して提供する。

- ・進級課目と関連させて、進級の目標が持てるプログラム
- ・ボーイスカウト部門の活動の特色を発揮できるプログラム
- ・ジャンボリーに向けて準備を進めることで、隊活動が活性化されるプログラム
- ・野外活動を基本に、体験活動や体力を使うダイナミックなプログラム
- ・班（小グループ）活動を活用して展開できるプログラム
- ・野営場の特色や周囲の環境を活かした、魅力あるプログラム
- ・関係組織や諸団体の協力を得て、多様で専門性のあるプログラム

また、大会プログラムの運営と実施については、次の点に留意して構築する。

- ・魅力的な活動を安全な環境のもとで実施する。
- ・開催地の自然環境を活かしながら、大会による影響を最小限に止めた設備とする。
- ・廃棄物の発生を最小限にするとともに、資源やエネルギーの節約、再使用、再生利用等に配慮する。

13 プログラム

(1) 隊サイトでの野営生活の実践や場内外で行われる各種プログラムに参加することにより、すべての参加者が体験する。プログラムの詳細、区分等は別に示すが、次のものを骨子として計画する。

① 競技的プログラム

進級課目と関連させた班や個人の対抗競技により、一つ上の進級を目指すとともに、班のチームワークを高める。

② チャレンジプログラム

会場の広さや参加人数を体験できる大会の規模を活用したプログラムで、スカウトのチャレンジ精神を高揚させる。

③ 知的・体験プログラム

場内外の自然、伝統・文化を基本としたテーマで、体験活動を取り入れたプログラムを展開し、スカウト活動の魅力を体感したり、将来の進路選択に向けたキャリア形成を促したりする。

④ 信仰・奉仕活動

隊や班におけるスカウトスOWN・サービスを通じて、「ちかい」と「おきて」の実践や、平和や恵みについて考え、スカウトとして行動を起こす。

⑤ 野営生活

隊や班サイトの設営・撤営、日々の野外炊事等を行うことにより、野営生活に必要な「衣食住」の技術を定着させ、リーダーシップ・チームワーク・フォロワーシップを

育成する。

⑥ 交流プログラム

隊や班同士の交流を促す。

(2) 全体行事

⑦ 開会式

参加者が大会の開会を祝い、本大会の趣旨を確認する。

⑧ 大集会

参加者同士が特色ある演技等をとおして、スカウティングの楽しさ、すばらしさを体感し、団結する。

⑨ 閉会式

会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人・物・環境について感謝の心を持つ。
そして、大会で出会った仲間と第19回日本スカウトジャンボリーへ共に参加することを約束し、ジャンボリーで学んだことへの実践を誓う。

(3) キャンボリーアワード

参加スカウトがキャンプ生活を含む期間中の諸活動に積極的に取り組めるよう、参加スカウトを対象としたアワードを設ける。このアワードは大会プログラムへの積極的な参加とスカウトの個人的進歩を促すものであり、期間中の活動を記録しながら振り返り大会後の自己の進歩の目標設定に役立てることを意図する。

14 基本日課

大会期期間中の基本日課は次のとおりとする。

起床	6 : 0 0	夕食	1 8 : 0 0
朝食	7 : 0 0	国旗降納	1 8 : 3 0
国旗掲揚	8 : 3 0	夜間の活動	1 9 : 3 0 ~ 2 1 : 0 0
午前の活動	9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	就寝	2 1 : 0 0
昼食・休憩	1 1 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0	消灯	2 2 : 0 0
午後の活動	1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0		

15 会場利用計画

(1) 生活地域（キャンプエリア）

参加隊の生活地域としてはやまの森野営場内に6か所のキャンプエリアとベンチャー奉仕隊のキャンプエリア1か所を設置する。各キャンプエリアは、各地区の参加人数に応じた規模とし、エリア割は予備調査、確定申し込みの人数により調整する。

また、大会スタッフ等の成人のための宿営地を奈良県立野外活動センターの第1サイトのテントサイト・魚座および第3サイトのテントサイト・ログハウスを利用する。

① 参加隊のキャンプ地

参加隊のキャンプ地は、班サイトとして、1班6～8名テント1～2張＋生活スペースを基本に検討する。

② 生活設備

各キャンプエリアの生活設備(給水、汚水枳、トイレ)は既存施設を活用することを基本とし、必要に応じて仮設設備を設置する。シャワーについては管理事務所横のシャワー施設を利用する。

③ 広場・営火場

既存の広場と営火場は参加隊が共有して利用する。

(2) アリーナ

開会式・閉会式等の全体行事を実施するアリーナを中央広場に設ける。

(3) プログラム地域

プログラムのテーマや区分に応じて、プログラムエリアを設ける。各テーマや区分に応じて、事務所と倉庫として利用するテントを設置する。

(4) 売店地域

会場内に次の売店を設ける。

- ・ 大会記念品等を扱うスカウト用品売店
- ・ 参加者の生活に必要な生活雑貨や飲料等の日用品売店

(5) 大会本部地域

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域をすずらん及びその周辺エリアに設ける。

(6) 駐車場地域

① 場内駐車場

業務用車両、来賓のための駐車場は、はやまの森野営場駐車場とする。

② 場外駐車場

大会本部スタッフ、参加者、来訪者の留置き車両のための駐車場を国道端の第2センターバス駐車場及び第1センターバス駐車場に設け、会場までのシャトルバスを運行する。

17 食事(配給)

(1) 食料の配給

参加隊の食事は野外炊事とし、大会本部を通じて食料の配給を受ける。食料の配給は、8月11日(月)夕食分から8月15日(金)昼食分までの12食分を配給する。

(2) 炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて次のとおり配給する。

① 材質・仕様 間伐材、除伐材を使用した広葉樹と針葉樹の混合。長さ約30~40cm

② 配給数量 40人あたり15束相当(1束あたり周長約85cm)を基本として、各参加隊の人数に応じた相当数量を配給する。

(3) スタッフの食事

大会スタッフは、奈良県立野外活動センターの第1サイト内に設置する本部食堂で給食を受ける。給食および昼食(弁当)の配給は、参加隊同様、8月11日(月)夕食分から8月15日(金)昼食分までの12食分とする。なお、業務内容、業務時間によって本部食堂での給食が受けられない場合は、別途考慮する。前泊・後泊時の給食・配給は行わない。

(4) 標準献立 標準献立表は、別に示す。

(5) 申込方法 別に示す。

18 服装および携行品

(1) 服装

加盟員が、全体行事（開会式、ジャンボリー大集会、閉会式）に参加する際は、制服を着用する。制服には参加章、記章、標章を正しく着用する。

生活や作業の際には、それに適した服装とし、プログラム参加時の服装・携行品については、別に示す。

(2) 携行品

① 参加隊の携行品

携行品およびキャンプ用装備は、快適なキャンプ生活を維持し、かつ楽しいジャンボリー活動が展開できるよう、簡素で、しかも精選されたものを準備する。これらの装備品等は準備訓練で十分使い慣れておくこと。

② 大会スタッフの携行品

大会スタッフおよび派遣団本部スタッフは、生活に必要な個人装備品と業務に応じて舎営地を利用できない場合は、宿泊用のテント等を持参すること。

19 輸送

(1) 輸送計画

各参加隊は、人員及び資材の輸送計画を立案し、大会本部と調整を行う。

大会本部は、到着・出発の時間帯を定め、各参加隊の輸送調査を踏まえ、到着・出発時刻を調整する。

(2) 集散移動に要する経費

参加者の居住地から会場までの集散移動に要する経費は、すべて参加者の負担とする。

(3) キャンプ装備・備品等の輸送

① 個人の携行品は、参加者が各自で携行することを原則とする。

② 参加隊、派遣団本部、大会スタッフの装備・備品等の荷造発送方法は、別に示す。

③ 輸送に関する細部は、別に示す。

(4) 個人の車両

会期中、会場内における個人の車両の使用は認めない。

(5) 会場内の交通制限

会期中、国道端駐車場⇄会場間を通行できる車両は、大会本部・警察・消防・報道・郵便・関係業者等の大会業務に必要な車両に限定し、その基準は別に定める。

20 入場・退場

(1) 参加隊の集散

会場近隣への影響と安全な誘導を考慮して、深夜・早朝の入退場は行わない。

① 入場

参加隊は、8月11日(月)の朝から正午までに会場に到着し、同日の夕刻開始する開会式までに設営を完了する。

② 退場

参加隊は、8月15日(金)の午後から夕刻までに会場を出発する。

③ 手続き

入場・退場に関する手続きは、別に示す。

(2) 大会スタッフの入場・退場

大会スタッフのはやまの森野営場への入場・搬入は、8月10日(日)午前中を目途に会場に到着し受付を完了する。ただし、奈良介護福祉中央学院(旧はやま小学校)、奈良県野外活動センターへの入場はこの限りではない。

大会スタッフの退場は、8月15日(金)の午後、参加隊の退場完了後を予定する。入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は別に示す。

(3) 先発・後発スタッフの入場・退場

事前の準備から携わる実行委員会と専門部会の委員、ならびに大会スタッフの到着受入れや退場等に必要なスタッフは、予め実行委員会から入場・退場日時が指示される。先発・後発スタッフの細部については、別に示す。

21 安全管理と救護衛生

(1) 安全管理・事故の防止

大会の参加者は、快適なキャンプ生活を過ごすとともに、キャンポリーを心に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。

特に参加隊において指導者は、キャンプ生活・プログラム活動をとおして、安全指導・安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみから大事故につながる恐れがあることを忘れず、安全の三原則を厳守しなければならない。

＜安全の三原則＞

- ・自分の安全は自分で守る
- ・ルールを守る
- ・安全を最優先にする

(2) セーフ・フロム・ハーム

大会に参加するすべての指導者は、日本連盟のセーフ・フロム・ハームのガイドラインを遵守して、スカウト運動の信頼を強め、自らの身を守り安全で安心できる活動を展開する。

参加者が期間中の悩みなどを相談できる相談窓口や、リラックスできる休憩所を設置する。

(3) 健康管理・個人衛生

参加者は、各指導者の指導のもとに、健康管理と保健衛生に十分留意する。また、晴れた日中には真夏日になることが予想されるので、熱中症や食中毒予防への備えを十分にする必要があるとともに、参加者自身による健康管理と指導者による応急手当てへの備えを徹底する。

(4) 救護所

会場内の参加者の健康管理と傷病に対して万全を期するため、可能な限りの応急処置ができる県連医療チームを中心に本部救護所とを設置する。また、外部の医療機関との連携を

はかり、傷病の度合いにより搬送、受診ができるように手配を行う。

(5) 各種感染症拡大への対応

新型コロナウイルスの感染に限らず、各種感染症の拡大を防止するための対策を行う。参加者全員に健康調査票を配布記入提出するとともに、参加 1 週間程度前からの健康状態の報告を義務付ける。これらの様式については別に示す。

(6) 熱中症対策

熱中症警戒アラートの導入および運用ルールを定め、詳細は別に定める。

(7) 害獣・害虫への対応

生活エリアや活動エリア内において、害獣・害虫等と接触・見かけた場合は、刺激することなく、大会本部または野営管理班へ連絡すること。

22 大会組織と運営とその心構え

(1) 準備・運営の方針

大会の準備・運営にあたっては、本大会の目的が達成できるように次のことに配慮する。

- 大会スタッフは、主役はスカウトであることを常に念頭に置き、彼らの成長に寄与できる運営を心がけるとともに参加者に対してサービス精神を持って対応する。
- 運営を円滑に進めるために、部署間で情報の共有化を図り、パートナーシップを強くする。
- 生活設備等についても参加者へのサービスを考えたものとする。
- 大会スタッフの宿泊については本部宿泊地として一か所に定める。
- 「残すものは感謝のみ」というスカウト精神に基づき環境に配慮した運営を行う。
- 夜間連絡のため各班に宿直員を配置し、本部宿泊地との連絡に当たる。

(2) 準備・運営の組織

県連盟は、地区および関係諸団体等からの人的支援により理事会のもとに実行委員会と専門部会を編成し、大会運営に関わる諸準備を推進する。

本大会の運営は、参加者へのサービスの質と組織運営の効率化を高めるため 5 部署による業務を基本に、大会の運営にあたってはコンパクトな大会運営を目指し、大会経費の軽減を図る。

参加隊との連携と密な情報共有のため期間中、大会本部と隊長による隊長会議を開催する。開催場所、開催時間等は別に示す。

(3) 参加隊指導者の役割

キャンポリー活動は、参加するスカウトのために構成されており、各参加隊の指導者によりスカウトの学習・体験を支援し、個人の成長・発達を促すことが必要である。

各参加隊の指導者は、所属する団・地区と連携しながら参加者の申し込みや準備訓練、人員や備品等の輸送など参加に関する準備を進め、大会に関する情報を団関係者や、隊内の参加者とその保護者に提供していかなければならない。

また、期間中は参加隊スカウトの指導・管理と併せて、大会スタッフの一員として、大会本部および他の参加隊指導者と協力して、参加者の健康と安全に十分留意した快適なキャンプ生活と大会プログラムの円滑な実施のため、必要な役割を担う。

23 大会本部各班の所掌業務

No	班 名		所管事項
1	総務班	総務 会計	1. 大会本部各班、参加隊との連絡調整に関する事 2. 大会本部会議、隊長会議等の運営に関する事 3. 参加者の申込、入場・退場手続きに関する事 4. 大会の事務、会計、記録に関する事 5. 参加者への情報提供に関する事 6. 来賓・来訪者に関する事 7. その他各班の所掌に属さない事
		広報	8. 報道機関の取材等に関する事 9. 写真や映像等による大会記録に関する事
		輸送	10. 参加者の集散輸送、資機材輸送に関する事 11. シャトルバスの運行に関する事 12. 業務用車両と給油に関する事
		救護担当	13. 参加者、見学者の応急手当に関する事 14. 参加者の傷病の看護、急な帰宅等への対応に関する事 15. 参加者のカウンセリングに関する事 16. 救護所の運営に関する事 17. 感染症対策に関する事 18. 熱中症対策に関する事
		需品担当	19. 需品販売に関する事 20. 野営生活用品の販売に関する事 21. 飲料水、補助食糧等の販売に関する事
2	プログラム班		1. 全体行事の計画と実施に関する事 2. 場内、場外プログラムの計画と実施に関する事 3. 国旗儀礼の実施に関する事 4. 中央広場の使用統制に関する事 5. 信仰奨励に関する事 6. キャンプリーアワードに関する事 7. その他大会のプログラム・行事に関する事
3	野営管理班		1. 場内・会場周辺の交通統制に関する事 2. 参加者の安全管理、事件・事故に関する事 3. 会場内の警備に関する事 4. 大会の防災、危機管理、緊急避難に関する事 5. 野営規律の維持と野営生活の指導に関する事 6. 遺失物・拾得物に関する事 7. ごみ処理に関する事 8. 尿尿処理に関する事
4	給食・配給班		1. 参加者の食料配給、炊事用燃料の配分に関する事

		2. 本部スタッフの給食に関すること
5	施設・資材班	1. 参加者のキャンプサイトに関すること 2. 大会スタッフの宿泊に関すること 3. 駐車場の管理に関すること 4. 参加者の設営・撤営の指導に関すること 5. 場内施設、設備の構築と維持管理に関すること 6. 施設・借用資器材の調達、配分に関すること

24 大会本部組織図

